

給

食は食べること。

実は、それだけではありません。例えば、机を並べてグループで食べることは、コミュニケーション能力や社交性を育みます。

また、なぜ食べることができているのかを考えることで、生産者や調理する人へ感謝をする気持ちが芽生え、ココロを育むことになりま。給食は、食を通して、子どもたちに「生きる力」を伝える大切な「食育」。三芳町では平成24年度から、学校給食センターに栄養教諭を配置し、現在2人の教諭が各学校で食育指導の授業を行っています。

「この写真を見せると、子どもたちの表情が一変するんです」と話す栄養教諭の一人、佐藤教諭。「給食の食べ残しの写真です。それまでニコニコしていた子が、真剣な目で写真を直視するんです」と言います。「多くの人の力で作られた給食を残すことに、子どもながら罪悪感を持つようです。高学年になると、環境への配慮も意識するようになりま。話で伝えるよりも、写真やイラストを使って説明すると、食育への理解がより深まると思います、工夫をしながら

授業を行っています」と話す佐藤教諭の横で深く頷く、坂下教諭。「三芳町の先生は積極的に学校給食の重要性を理解しようとしていることに驚きました」と続けて言います。

坂下教諭は「残念なことに、三芳町は地場産物が豊かなことが浸透していないと感じま。自分たちが暮らす三芳町のことをせっかくなら食を通して知ってもらいたい」と言い、「献立に産地を明記するなどし、地場産物を使用されていることが分かるような工夫をします。また、厚削り節、昆布、鶏ガラなどで毎日出し汁をとり、加工品でなく、天然出汁で味覚を育てる取り組みもしています」と優しさがギュッと詰まった、三芳町の給食ならではのこだわりを語ります。

「子どもたちが将来、大人となり、親となった時に『あの味を子に食べさせたい』と感謝の気持ちと一緒に思える給食を、子どもたちへ届けていきたい」と口を揃えて言う2人。
人を良くすると書いて「食」。その原点は、学校給食の隠し味として含まれているのかもしれない。



① 栄養教諭による食育授業の様子。子どもでも分かりやすいように、「健康列車・みよし号」のパネルを使い、説明をします。②③④ 藤久保小学校1年4組の給食の様子。児童たちは担任の糸井先生のもと、元気よく「いただきます」をしたあと、待ちに待った給食を、美味しく笑顔で口に運びます。⑤ 食器には、町のブランド「みよし野菜」のロゴと、町の特産さつまいもやほうれん草、町のマスコット「みらいくんとのおまちゃん」が描かれていて、町への愛着を深める取り組みも。

竹の子エコクラブのエコ・クッキング

毎年、竹の子エコクラブの活動として「エコ・クッキング」が大東ガスの協力のもと行われています。野菜の皮など、普段はすぐに捨ててしまいがちな部分も工夫をして食べたり、食器についた汚れも最小限に抑えるなど、環境に配慮した調理方法を学びます。

? 竹の子エコクラブ

2002年5月から活動を開始。毎年4月に町内の小学生のメンバーを募集し、自然環境や生き物に関心をもち、その大切さや環境を考える活動を行っています。

もったいない (Mottainai)

日本国内の年間食品廃棄量は、食料消費全体の3割にあたる約2,800万t。食べ残しなど、本来食べられたはずの、いわゆる「食品ロス」は約632万トンとされています。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量(平成26年で年間約320万t)を大きく上回る量。食べ物をもっと無駄なく、大切に消費していくことが必要です。

感謝のココロを育てる給食

三芳町の学校給食では、地産地消を意識して、地域の野菜をたくさん使用しています。とても身近なところで、自分たちが口にしてる食べ物が作られているということを感じてもらうため、献立には産地を明記。「三芳産」と地元のもの分かるようにしています。これは、ふるさと三芳町に愛着や誇りを給食を通じて感じてもらうこと、農家の皆さんや給食を作っている人などへの感謝のココロを育てる狙いがあります。一方、大人になるために大切な栄養を考え、三芳町らしい美味しい給食をお届けしていきます。

管理栄養士
坂本 千秋さん



ココロを育む、食のチカラ。

町内の小中学校で食べている給食。ただ食べるだけではなく、なぜ食べることができるのかなどを考えながら、心を育む取り組みをしています。

牛乳飲み残しゼロ

牛乳を全部飲みきることができたクラスに贈られるカード。牛乳パックには埼玉県のキャラクター「コバトン」や県警マスコット「ポッポくん」があらわれています。

完食賞

月に1度でも、給食を全部食べることができたクラスに贈られる完食賞。食べ物に感謝をする気持ちが高いクラスほど、受賞回数が高いと言われています。



給食を残さず食べると賞をもらえるから頑張ってるよ!